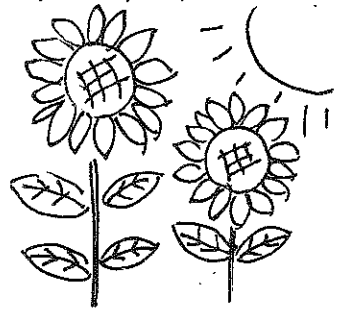


# 矢向あけばの保育園だより 2024年 8月号

連日、酷暑や猛暑日です。天気予報からお知らせが来ます。酷暑・猛暑は35℃以上で真夏日と言われると30℃以上、夏日は25℃以上だそうです。そうすると、今年は、4月下旬に30℃をこえる日が多くあったので、夏という季節が長くなっています。カレンダーでは8月7日から立秋となっていますので季節は秋へと移行していきそうですが、まだまだ夏まじりといったところですね。季節の変化も不安定な為か、子どもたちも体調を崩れやすくなっています。上手に休息を取ってこの厳しい時期をのりこえたいですね。



## ～世界平和を願って～

今年、オリンピック開催です。全回はエナジーで一年遅れた分、あ、とい間にパリオリンピックになったという印象です。日本もメダル獲得のニュースが毎日のように入ってきて盛りあがっている感じですね。オリンピックは「平和の祭典」といわれています。古代オリンピックでは、祭典が開催される期間は、互いに争い合っている状態だったとしても休戦としてオリンピックを目指し参加していたので、それに習って1992年に「オリンピック休戦」と提唱しました。スポーツによる平和と選手への生命の尊重を掲げて、1994年のソルブメント大会から導入されたそうです。パリ大会においても、2024年7月19日から9月15日まで休戦期間とされその遵守が呼びかけられています。近代オリンピックの最大の目的が「世界平和」と強く願った「近代オリンピックの父」と呼ばれるピエール・ド・クーベルタン男爵が人間の交差とかがけ、スポーツを通して心身を向上させ、さらに文化、国籍など様々な差異と超え友情、連帯感、フェアプレーの精神をもて理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」と提唱しました。オリンピックという理念を引き継ぎIOC（国際オリンピック委員会）が大会運営を行っています。シンボルマークは、5大陸を表現されているのが有名ですね。その理念のように本当の平和の実現を願います。

今だ終らない、ロシア・ウクライナ戦争やパレスチナ・イスラエル紛争、そこにイランも報復攻撃の大規模になつとくたというニュースが流れていました。8月は、終戦記念日や広島・長崎での原爆の日というこゝで平和祈念式典が開催されていますが、イスラエルを招待されたこと各国が懸念を示し大使らが参加見合わせを表明しています。原爆が投下されて78年目になります。実際体験された方々が高齢化し語り継ぐことが難しくなっています。若い世代も風化させない取り組みで、残っている資料や映像の記録を使って知ってもらう活動とされている高校生が取材を受けました。「このような取り組みをしているのは、祖母が被爆者でその当時の事は話してはくれないからだが、ある日次の世代には、自分のつらい幼少期をすくなくてほしくないと言ってくれたのがきっかけです。」と言っていました。聞いた自分にはそれを又伝えていくことが祖母の思いをつないでいくのだとも言っていました。様々なところや、形で平和を語りつないていくことが大事だと思いました。飯田雅美